

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」

エコミュージアムルームだより 第59号

参加者募集!

最上川と橋の百年を歩く

～ 旧五百川橋から旧明鏡橋へ ～

鉄橋では県内最古の一般道橋として令和9年(2027)に百年の節目を迎える「旧五百川橋」。雄大な最上川に架かり、地域の暮らしと産業を支えてきた歴史ある橋です。

本企画では、現在は車道・水道橋として親しまれている旧五百川橋を隣接する歩道橋から眺めながら、その誕生の背景や当時の土木技術、そして地域の発展とともに歩んだ百年の歴史をたどります。橋上から望む最上川の流れに耳を澄ませば、かつての舟運のにぎわいや人々の往来の姿が思い浮かぶことでしょう。さらに、かつての舟渡し場跡に立ち寄り、橋が架かる以前の交通の要衝としての役割についても考えます。川とともに生きてきた人々の知恵と工夫を感じるひとときです。

その後は、朱鷺色に輝くヤシオモミジを眺めながら「明鏡橋」へと移動します。県内に残る古いトラス橋やアーチ橋にも目を向け、それぞれの構造美や時代背景の違いについて学びを深めます。

橋は単なる通路ではなく、時代を映す「かたちある歴史」です。最上川の流れとともに、百年の時を超えて受け継がれてきた橋の物語を、一緒に歩きながら紐解いていきましょう。

見学行程 (※自家用車での移動になります)

■9:30創遊館出発 → ■旧五百川橋周辺(徒歩散策) → ■能中 → ■旧明鏡橋・カヌーランド(徒歩散策) → ■11:30創遊館着



故阿部幸作氏撮影 旧五百川橋

募集要項

日時 令和8年5月6日(水) 9時半～11時半頃まで
案内人 鈴木 健二 氏
集合場所 朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」エコルーム前
参加費 500円 (資料・保険代)
募集人数 10人 (※定員になりしだい締め切らせていただきます)
申込締切 5月1日(金)午前中までエコルームにお申込みください。
問合せ先 エコルーム TEL・FAX 0237-67-2128 (9:00～17:00 月・木休み)
E-mail eco@town.asahi.yamagata.jp

留守番電話にメッセージを残すときは、折り返し先の電話番号もお願いいたします。



令和7年度 朝日町エコミュージアム協会事業報告 (※主な事業を抜粋して紹介しています。)

調査事業・・・(1)調査事業/①「朝日町の獅子舞」の聞き取り調査・撮影 (4月～)

普及事業・・・(1)展示事業/①エコパネルの更新 2回(8月・1月)
(サテライト散歩コース紹介、星空の街・あおぞらの街全国大会報告、エコカルタ紹介)

(2)資料事業(出版・頒布)/①エコミュージアムガイドマップリニューアル(11月)

(3)催事事業/①エコミュージアムかるた大会開催(令和8年2月11日 参加者13人)

②星空観察講座及び星空観望会の主幹業務
星空観察講座全4回開催 参加者(講師含む) 35人

広報事業・・・(1)エコルーム便り発行/4回発行(7/1、12/16、2/27、3/31)

朝日町エコミュージアム サテライト散策

◆伊豆権現の種まき桜(栄町)

【DATA】役場前交差点の北側(宮宿栄町)、伊豆権現の境内にある。四月下旬に花が咲く頃には見やすいベンチも設置される。



樹高約九m、枝張約五m、幹回り約三・五mのエドヒガン桜。長寿の桜として知られる品種で、この木も樹齢は七〇年以上と推定されています。

江戸(東京)では彼岸の頃に花が咲くエドヒガンですが、朝日町では四月下旬頃に花が咲きます。昔はこの花が咲くと稲の種まきをしたことから、「種蒔き桜」と呼ばれてるようになりました。

現在も、栄町区民の手により大切に守られており、平成二十六年には朝日町ふるさと文化財として登録されています。

◆豊龍の丘公園(本町)

【DATA】県道宮宿・白滝線の宮宿本町の交差点を北西に入り、坂を上った豊龍神社の裏側にある。



経ヶ崎(きょうがさき)という地名があるところ、この地は古くは平安時代に東守寺(とうしゅじ)という天台宗の寺院があり、戦国時代には鳥屋ヶ森(とやがもり)城の支城として豊龍館があったとされます。

明治時代には日清・日露戦争の戦没者を慰霊する忠魂碑が建てられており、大正・昭和の時期は、公園や映画館もあり、町民の娯楽や行楽の場として賑わいを見せていました。昭和二十六年(一九五二)には、県立高松高等学校宮宿分校の校舎が建てられ、その後県立左沢高等学校朝日分校となり、平成十年に閉校するまで、学びの場になっていました。その跡地を含めて平成十六年から十八年にかけて整備され、豊龍の丘公園が出来ています。

◆一本松公園(能中)

【DATA】国道二八七号線沿い四ノ沢交差点から西の町道に入り、八天橋・元能中を経て約二・四km、散策所要時間 約三〇分



能中集落の北側、町道に接する駐車場から高台までの散策路脇に、能中地区が保存に取り組んでいる、町の花「ヒメサユリ」(五月末から六月初めにかけて、淡いピンク色の花が咲く)の群落があります。

高台にはシンボルである一本松や四阿(あづまや)・遊具があり、眼下には榎平の棚田や朝日町の中心部、最上川、遠くには朝日連峰・月山・葉山・白鷹山を眺めることができます。



※朝日町エコミュージアムサテライト散策で訪れた場所を紹介しています。桜の季節にぜひ散策してください。